

3学期の終業式で皆さんに「これからの1年をどう生きていくか」という話をしました。春休みを使って、色々と考えてみたり、普段できないことをどんどん試したりしてください。今日は、皆さん一人一人がどう考え、何を決意したか、確かめてみることはしませんが、ぜひ気持ちを新たにして、積極的に取り組んでいってください。

「これからの1年」と言っても、なかなか目標として実感しにくいと思います。そこで、自分の成長や進化を少しでもリアルに感じる方法は無いのでしょうか。

例えば3年生のコミュニケーション英語Ⅲは4単位で、1月中旬までしか授業が無いことから、本当なら140時間相当の科目ですが、実際には100時間くらいの授業時間数になります。と言うことは、たとえるならば、1年間かけて100段の階段を上り切れれば良いわけで、1回の授業で上る階段はわずか1段です。全体のたった1%で良いのです。

授業が終わった時点で、その授業の開始前の自分と終了後の自分を比べてみて、間違いなく1段に相当する進歩や上達があったか、自問自答しましょう。

授業の前には知らなかったことを、授業が終わった時には知っているか。

授業の前には思いもよらなかったことを、授業が終わった時には考えるようになっていくか。

授業の前には解けなかった問題を、授業が終わった時には解けるようになっていくか。

授業の前にはできなかったことが、授業が終わった時にはできるようになっていくか。

その授業によって、自分自身が100分の1段を上れたことが実感できるかどうかです。上れるかどうか心配だったら、予習をしてから授業に臨みましょう。授業が終わっても実感できなかったら、実感できるように、その日のうちに復習をしましょう。そうやって1段1段、自分自身の進歩を確かめながら、階段を上っていきましょう。

わずか1段であっても、上り損ねたまま次の授業を迎えてしまうと、一度に2段を上らなければならない。1段が上れなかったのに、いっぺんに2段はかなり難しい。ともすると諦めることになってしまい、1年後には100段のうち30段しか上れなかった、なんてことになりかねません。

さて、大宮西高校にとって、この1年は今までとは違う1年になります。新入生がいません。生徒数が少なくなって、学校行事などでは、時に寂しい感じがすると思います。部活動も大会参加が難しくなるかも知れません。校舎の建設工事も進み、そのことによって皆さんに不自由な思いをさせてしまうことでしょうか。

でも、だからと言ってうつむくことはやめましょう。これまでと同じように、自分自身の日々の高校生活を最大限に充実させて、その上で自らの進路希望の実現を目指しましょう。もちろん3年生だけではなく、2年生も同じです。そのためには、皆さんがただ気分よく好き勝手に高校生活を送るのではなく、より高みを目指して努力し、切磋琢磨していきましょう。

生徒会本部や、いくつかの部活動の生徒の皆さんの努力によって、新入生歓迎会に代わる激励会が11日の午後に開催されることになりました。この激励会を、ただ楽しかった、盛り上がっただけで終わらせないでください。あなた方一人一人が、ぜひ自分自身を激励してください。あなた方全員が、これからの1年に向けて、お互いを激励し合ってください。誰でもないあなた自身が、高校生活のかけがえのない1年を最大限に充実させて送ることを期待しています。